様式第64の3（第48条の3関係）（平11通産令132・追加、平15経産令72・平15経産令141・平19経産令14・平27経産令6・令元経産令1・令2経産令92・一部改正）

【書類名】 口頭審理申立書

（【提出日】 令和　　年　　月　　日）

【あて先】 特許庁審判長　　殿

【審判事件の表示】

【審判番号】

【出願番号】

【審判請求人】

【識別番号】

【住所又は居所】

【氏名又は名称】

（【電話番号】）

（【ファクシミリ番号】）

【代理人】

【識別番号】

【住所又は居所】

【氏名又は名称】

（【電話番号】）

（【ファクシミリ番号】）

【申立の内容】

【提出物件の目録】

〔備考〕

1　「【審判事件の表示】」の欄の「【審判番号】」には「不服○○○○―○○○○」のように審判の番号を記載し、かつ、「【出願番号】」には「特願○○○○―○○○○○○」のように特許出願の番号を記載する。ただし、審判の番号が通知されていないときは、「【審判番号】」を「【審判請求日】」とし、審判請求をした年月日を記載する。

2　その他は、様式第2の備考1、2、4、10から14まで、16から18まで及び22から25まで、様式第4の備考4並びに様式第61の6の備考1、4、6及び7と同様とする。